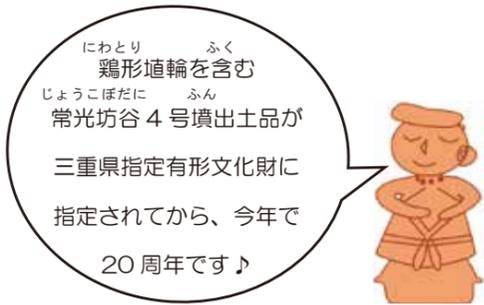


はにわ通信

No.262 平成 29 (2017) 年 1 月号



【常光坊谷 4 号墳出土の鶏形埴輪】

新年おめでとうございます。今年は十二支でいうと酉の年ですね。*「酉」とは鶏のことです。今回の『はにわ通信』では、30 年ほど前に松阪市の常光坊谷 4 号墳から出土した“鶏”の形をした埴輪をご紹介します。

常光坊谷 4 号墳は、今から 1500 年ほど前の 5 世紀末頃に造られた円墳であることが、昭和 63 (1988) 年の発掘調査で明らかになりました。その調査の際に、ここからは、円筒埴輪や朝顔形埴輪の他に、形象埴輪として人物 5 点 (男子 2 点・巫女 3 点)・馬 2 点・鶏 2 点 (雌雄各 1 点)・家 1 点が見つかっています。形象埴輪がこれほどまとまって出土した例は東海地方では珍しいことから、平成 9 (1997) 年 3 月 6 日付けで三重県指定有形文化財 (考古資料) に指定されました。

鶏は、遅くとも弥生時代には、中国を経て日本へ渡ってきたようです。“ニワトリ”という呼び方についてですが、その語源は「庭の鳥」「庭にいる鳥」を意味する「ニワツトリ」です。このうち助詞の「ツ」が抜け落ちて、“ニワトリ”となりました。鶏は夜明けを告げる「時の使者」で、今から 1300 年ほど前に成立した『古事記』や『日本書紀』に伝わる神話では、「天照大神が天岩戸に入れ世の中が真っ暗闇になった時、八百万の神が常世長鳴鳥 (鶏のこと) を鳴かせた」という記述があります。また神社にある鳥居は神前に置いた鶏の止まり木が起源であるとされ、この動物がかつては神聖視されていたことが分かります。

常光坊谷 4 号墳から雌雄 1 点ずつ出土した鶏形埴輪は、他の埴輪と一緒に見つかったことから、死者を古墳に葬る際に行われた祭祀で使われたものと考えられます。いずれもほぼ実物大に作られており、粘土で全体の形を作った後、雄の頭部には粘土を貼り付けて鶏冠が表されています。目はごく小さい穴、羽は複数の太い線で表現されています。鶏の下は短い円筒状の台となり、正面には脚が線で表現されています。

この鶏形埴輪は、来月 4 日 (土) から「はにわ館」で開催される冬季企画展で展示されます。酉年に因んで、ぜひご覧になってください。皆様のご来館をお待ちしております! (担当)

* 「十二支」については『はにわ通信』No.237 (平成 26 年 12 月号) で紹介しました。当センターのホームページや「はにわ館」のパソコンから見るができますので、よろしければそちらもご参照ください。



常光坊谷 4 号墳出土の鶏形埴輪 (雌雄)

【とっときの……】

ほつきかさん はくまいじょう ますがたやま いただ ちょうぼう
堀坂山や白米城 (榎形山) の頂から眺望
する景色は、この地に住まう私たちにとって、
とっときのものだ。毎年、初日を見ようと、
この山に多くの人がある。ご来光はありがた

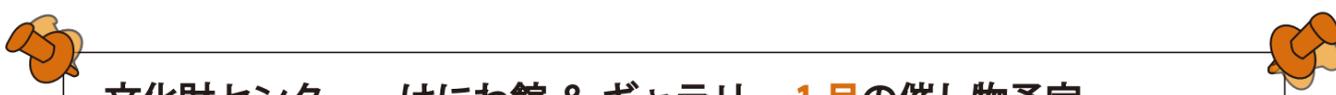


い。それは、太陽神そのもの。そして、私たちの心を清々しいものにしてくれる。
冬の早朝のひとつ、これらの山並みは朝日に映えて、赤く装う。夕陽に辺りが染まるのとはまた違う、
神々しさを持っている。それは刺すような寒さと一体となって、見入らせてしまう。

今年もまた、いい年であってほしい。いや、とっときの年に……。

1 月の市民ギャラリーでは市民の皆さんの絵画や盆栽の展覧などがあります。「松阪市幼小中造形展」は園児・児童・生徒の作品展です。そして、松阪工業高校の卒業制作展が続きます。若い感性に触れてみてください。
はにわ館では船形埴輪を中心とした常設展示をしています。ご来館をお待ちしています。(所長)

お詫び
平成 28 年 10 月 8 日から 12 月 4 日まで開催いたしました、はにわ館特別展「氏郷の城と町ー松阪の誕生と発展ー」におきまして、一部解説パネルに誤りがございました。この誤りにつきましては、会期中に修正をさせていただきましたが、ご来館いただきました皆様にはご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。再発防止に館をあげて努めてまいりますので、今後とも松阪市文化財センター・はにわ館をよろしくお願いたします。



文化財センター はにわ館 & ギャラリー 1 月の催し物予定

1 月の休館日は 1 日 (日) ~ 3 日 (火)、10 日 (火)、16 日 (月)、23 日 (月)、30 日 (月) です。
開館時間は 9:00 ~ 17:00 です。



バーコード読み取り (文化財センター情報)

【はにわ館】 入館料 100 円 (18 歳以下無料) * 入館は 16:30 まで	
第 1 展示室	■ 常設展 「宝塚古墳の謎」
第 2 展示室	■ 企画展 「松阪の発掘史を振り返る 中部平成台の発掘調査」【予告】 2/4 (土) ~ 3/20 (月・祝)
第 2 展示室	■ 展示説明会 「松阪の発掘史を振り返る 中部平成台の発掘調査」【予告】 2/4 (土) * 13:30 ~ 14:30
【ギャラリー】 入場無料 * 最終日は 16:00 まで	
第 1・2・3G	■ 松阪市幼小中造形展 1/14 (土) ~ 17 (火) ~ 16:00
第 2・3G	■ 第 23 回 三重県立松阪工業高等学校 繊維デザイン科 卒業制作展 1/19 (木) ~ 25 (水) * 初日は公開鑑賞講習会 * 最終日は 17:00 まで
第 1G	■ 松阪美術協会 新春展 1/22 (日) ~ 29 (日)
第 2G	■ 勢風盆栽展 1/27 (金) ~ 29 (日) * 最終日は 15:30 まで